

- 問1 貨幣の働きに関する具体的な場面を想定したとき、「交換手段」としての機能が最も直接的に表れている説明として適切なものはどれですか。
(2021年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--------------------------------------|---|
| 1. 将来の大きな買い物に備えて、毎月の給与の一部を銀行口座に預金して蓄える。 | 2. スーパーマーケットにおいて、商品の棚に「150円」と書かれた値札が付いているのを確認する。 | 3. 国や地方自治体に対して、期限までに定められた金額の税金を納付する。 | 4. 文房具店において、代金として100円硬貨を支払い、ノート1冊を受け取る。 |
|---|--|--------------------------------------|---|
- 問2 資金の流れにおいて、銀行などの金融機関が預金として集めた資金を企業に貸し出す「間接金融」と比較したとき、株式の発行などによる「直接金融」の説明として最も適切なものはどれか。
(2023年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 中央銀行が市中銀行と国債を売買することで、世の中に出回る通貨量を調節する仕組みである。 | 2. 政府が税金として集めた資金を、公共事業や社会保障の財源として支出する仕組みである。 | 3. 家計が銀行に預けた預金を、銀行が自らの判断で企業に融資する仕組みである。 | 4. 家計が証券会社などを通じて、企業が発行する株式や債券を購入して資金を供給する仕組みである。 |
|--|--|---|--|
- 問3 日本の実質経済成長率の推移をたどると、2008年から2009年にかけて数値が急落し、2009年度にマイナス5.7%という極めて低い数値を記録した時期があります。この要因となった世界的な経済危機の名称として正しいものはどれですか。
(2024年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------|----------------------|----------------|------------|
| 1. 世界金融危機（リーマン・ショック） | 2. 第1次石油危機（オイル・ショック） | 3. ブラザ合意後の円高不況 | 4. アジア通貨危機 |
|----------------------|----------------------|----------------|------------|
- 問4 2010年以降、日本銀行は世の中に流通する通貨の量を急激に増やす政策を続けています。このように通貨の供給量を増やすことで、経済にどのような変化をもたらそうとしているか、その目的として最も適切なものを選択してください。
(2017年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 物価が上がり続けるインフレーションを抑え、物価を下落させることで国民の生活を安定させること | 2. 物価が下がり続けるデフレーションから脱却し、物価を上昇させることで景気を回復させること | 3. 市場の通貨量を減らすことで円の価値を高め、輸入品の価格を大幅に引き下げること | 4. 企業の利益を減らして労働者の賃金を強制的に引き上げ、所得の格差を解消すること |
|--|--|---|---|
- 問5 資金の貸し借りが行われる金融市場において、元金に対する利子の割合を示す言葉として正しいものはどれですか。
(2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|----------|-------|
| 1. 為替相場 | 2. 自己資本比率 | 3. 物価上昇率 | 4. 金利 |
|---------|-----------|----------|-------|
- 問6 個人などの資金の出し手が銀行などの金融機関に預金を行い、その金融機関が企業などの資金の借り手に貸し出しを行う金融の仕組みを何といいますか。
(2017年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 直接金融 | 2. 消費者金融 | 3. 公定歩合 | 4. 間接金融 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問7 景気が後退している局面において、日本銀行が市場の通貨量を調整して景気の回復を図る「買いオペレーション」の仕組みとして、最も適切な説明はどれですか。
(2021年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 日本銀行が市中の金融機関から国債などを買い入れることで、市場に出回る通貨の量を減らし、金利を上げる。 | 2. 日本銀行が保有する国債などを市中の金融機関に売却することで、市場に出回る通貨の量を減らし、金利を上げる。 | 3. 日本銀行が保有する国債などを市中の金融機関に売却することで、市場に出回る通貨の量を増やし、金利を下げる。 | 4. 日本銀行が市中の金融機関から国債などを買い入れることで、市場に出回る通貨の量を増やし、金利を下げる。 |
|---|---|---|---|
- 問8 日本銀行の業務に関する説明として、民間の銀行（普通銀行）の業務とは異なる、中央銀行としての正しい役割はどれですか。
(2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 一般の銀行を対象として、資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。 | 2. 企業間の不当な価格操作が行われないよう、市場を監視する。 | 3. 個人の預金者に対して、預けられた金額に応じた利息を支払う。 | 4. 企業の将来性を審査し、新しい事業を始めるための資金を直接融資する。 |
|------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|
- 問9 日本銀行の業務に関する説明として、民間の金融機関（普通銀行など）と比較した際の特徴として正しいものはどれですか。
(2018年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|---|
| 1. 利潤を最大化することを目的として、一般の家計に対してクレジットカードの発行を行う。 | 2. 国の唯一の「発券銀行」として、金貨や銀貨のみを製造して発行する。 | 3. 一般の個人や企業との間では、預金の預け入れや貸し出しなどの取引を行わない。 | 4. 預金者から預かった資金を元手に、株式市場での投資を主な収益源としている。 |
|--|-------------------------------------|--|---|
- 問10 日本銀行が、景気の安定を図るために公開市場操作などの手段を用いて、世の中の通貨量や金利を調整する政策の名称を何といいますか。
(2020年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 貿易政策 | 2. 財政政策 | 3. 産業政策 | 4. 金融政策 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問11 ある期間において為替相場が1ドル=138円から1ドル=148円へと変動しました。このとき、海外から80ドルの商品を輸入して円で支払う場合、支払額はどのように変化するか説明として正しいものを選びなさい。
(2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 円の価値が下がった（円安）ため、支払額は以前より800円増加する。 | 2. 円の価値が下がった（円安）ため、支払額は以前より800円減少する。 | 3. 円の価値が上がった（円高）ため、支払額は以前より800円増加する。 | 4. 円の価値が上がった（円高）ため、支払額は以前より800円減少する。 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
- 問12 不景気の際に日本銀行が「買いオペレーション」を行う目的と、その結果として期待される経済への影響についての説明として、最も適切なものはどれですか。
(2020年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|--|--|
| 1. 円安を誘導することで輸出企業の利益を増やし、国内の雇用環境を改善する | 2. 国債の発行額を減らすことで国の借金を削減し、将来の増税の可能性を低くする | 3. 世の中に出回る資金の量を減らし、物価の上昇を抑えることで、消費者の生活を安定させる | 4. 世の中に出回る資金の量を増やし、企業が銀行から資金を借りやすくして、経済活動を刺激する |
|---------------------------------------|---|--|--|
- 問13 銀行は家計から預金として集めた資金を、資金を必要とする企業などに貸し出しています。このとき、銀行の主な収益源となる「利ざや」が発生する仕組みについて、正しく説明しているものはどれですか。
(2024年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 預金金利と貸出金利を同等に設定し、預金の総額が増えることによって利益を得る。 | 2. 銀行が貸出先から受け取る貸出金利を、預金者に支払う預金金利よりも高く設定する。 | 3. 中央銀行から支払われる補助金を、預金者に利子として分配した残りを収益とする。 | 4. 銀行が預金者に支払う預金金利を、貸出先から受け取る貸出金利よりも高く設定する。 |
|---|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 文房具店において、代金として100円硬貨を支払い、ノート1冊を受け取る。	貨幣を介して特定の財（この場合はノート）を入手する行為は、貨幣が交換の媒介となっていることを示しており、これが「交換手段」の典型的な例です。値札で価格を確認するのは「価値の尺度（モノの価値を測る基準）」、預金は「価値の保存（富を蓄える）」という別の機能を説明したものです。
問2	答え 4 家計が証券会社などを通じて、企業が発行する株式や債券を購入して資金を供給する仕組みである。	直接金融は、貸し手である家計などが自らの判断と責任で、証券市場において株式や債券を購入し、借り手である企業に資金を渡す点に特徴がある。これに対し、銀行が間に入ってリスクを負いながら資金を仲介するのは間接金融である。
問3	答え 1 世界金融危機（リーマン・ショック）	2008年に発生した世界金融危機は、2009年度の日本経済に深刻な打撃を与え、大幅なマイナス成長をもたらしました。これは1974年度に第1次石油危機の後に記録した戦後初のマイナス成長を大きく下回る落ち込みでした。このように、グローバル化した現代の経済では、他国で発生した金融不安が短期間のうちに日本へ波及する仕組みになっています。
問4	答え 2 物価が下がり続けるデフレーションから脱却し、物価を上昇させることで景気を回復させること	日本銀行が世の中に供給する通貨の量（マネタリーベース）を増やすと、民間銀行が企業や個人に貸し出せる資金が増え、経済活動が刺激されます。この政策は、物価が継続的に下落して景気が停滞する「デフレーション」という状態から抜け出すことを最大の目的としています。通貨供給量を増やして金利を下げることで、消費や投資を促し、物価を適度に上昇させるサイクルを作ろうとしています。
問5	答え 4 金利	借りたお金（元金）に対して、どの程度の割合で利子を支払うかを数値で表したものが金利です。一般的に「利回り」や「利率」とも呼ばれ、景気の状態や日本銀行の政策などによって変動します。金利が高くなると借り手の負担が増え、低くなると借りやすくなるため、経済活動に大きな影響を与えます。
問6	答え 4 間接金融	資金の出し手と借り手の間に銀行などの金融機関が介在する仕組みを間接金融と呼びます。個人は銀行に預金することで利子を受け取り、銀行はその預金を原資として企業へ貸し出しを行い、企業から利子を受け取ります。これに対し、企業が株式や債券を発行して投資家から直接資金を調達することを直接金融といいます。
問7	答え 4 日本銀行が市中の金融機関から国債などを買い入れることで、市場に出回る通貨の量を増やし、金利を下げる。	不景気の際、日本銀行は世の中のお金の循環を促すために、民間銀行が保有する国債を買い取ります。これにより、民間銀行が自由に動かせる資金（通貨供給量）が増加します。市場にお金が増える状態になると、お金を借りる際の価格である「金利（利子）」が低下し、企業や個人がお金を借りやすい環境が整えられます。
問8	答え 1 一般の銀行を対象として、資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。	日本銀行は、私たち個人や一般の企業が直接口座を作って取引をすることはできません。日本銀行は民間の金融機関との間で資金をやり取りするため、「銀行の銀行」と呼ばれます。個人の預金に対する利息の支払いや一般企業への融資は、民間の普通銀行が行う業務です。また、価格操作の監視は公正取引委員会が担当しています。
問9	答え 3 一般の個人や企業との間では、預金の預け入れや貸し出しなどの取引を行わない。	日本銀行は「中央銀行」という特別な立場にあり、私たち個人（家計）や一般の企業が口座を作ったり、直接お金を借りたりすることはできません。日本銀行の取引相手は、主に政府と民間の金融機関に限定されています。また、日本銀行は日本銀行券（紙幣）を発行しますが、硬貨（貨幣）については政府が発行し、日本銀行が窓口となって世に送り出しています。
問10	答え 4 金融政策	中央銀行である日本銀行が、景気や物価の安定を目的として、国債の売買などを通じて世の中の通貨量をコントロールすることを金融政策と呼びます。主な手法は公開市場操作です。政府が行う増減税や公共投資などの経済対策は財政政策と呼ばれ、これらは「景気の調整」という目的は共通していますが、実施する主体と手段が異なります。
問11	答え 1 円の価値が下がった（円安）ため、支払額は以前より800円増加する。	1ドルあたりの価格が138円から148円になることは、1ドルの商品を買うのに必要な円が10円増えたことを示しており、これを円安と呼びます。80ドルの商品を輸入する場合、以前は「138円 × 80ドル = 11,040円」の支払いでしたが、変動後は「148円 × 80ドル = 11,840円」となります。この差額を計算すると「11,840 - 11,040 = 800円」となり、支払額が800円増加したことがわかります。
問12	答え 4 世の中に出回る資金の量を増やし、企業が銀行から資金を借りやすくして、経済活動を刺激する	買いオペレーションによって日本銀行から民間銀行へ資金が供給されると、銀行が貸し出しに回せる資金に余裕が生まれます。その結果、企業は投資のための資金を借りやすくなり、生産活動の拡大や雇用の創出が期待されます。このように、日本銀行が市場のお金の量を調節して景気の安定を図る制度を公開市場操作と呼びます。
問13	答え 2 銀行が貸出先から受け取る貸出金利を、預金者に支払う預金金利よりも高く設定する。	銀行は、資金が余っている家計などから「預金」を受け取り、その資金を必要としている企業などに「貸し出し」を行う金融仲介の役割を担っています。銀行の収益の柱は、貸し出した相手から受け取る利子（貸出金利）と、預金者に支払う利子（預金金利）の差額です。この差額を「利ざや」と呼び、銀行が安定して経営を行うためには、受け取る利子が支払う利子を上回っている必要があります。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 間接金融	資金の出し手（家計）と受け手（企業）の間に、銀行などの金融機関が介在して資金を仲介する仕組みです。家計は銀行に預金を行い、銀行はその資金をまとめて企業に融資します。貸し出し先の選定やリスク管理を金融機関が行う点が特徴です。
問2	答え 2 金融機関が仲介役となり、預金者から集めた資金を必要とする企業へ貸し出す。	間接金融は、銀行などの金融機関が「仲介者」として機能することが最大の特徴です。預金者は銀行に資金を預け、銀行はその資金をまとめて企業などに貸し出します。これに対し、企業が証券市場で株式などを発行して投資家から直接資金を得る仕組みは「直接金融」と呼ばれます。
問3	答え 3 物価が上昇するため、相対的に貨幣の価値は下がる	インフレーションが起これば、これまで100円で買えていたものが120円出さないと買えなくなるなど、モノの値段（物価）が上がります。これは、同じ金額の貨幣で交換できるモノの量が減ることを意味するため、貨幣の価値は実質的に低下することになります。
問4	答え 1 公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）	日本銀行が一般の銀行との間で国債などを売買することにより、市場に流通する通貨（マネーストック）の量を増やしたり減らしたりする仕組みを公開市場操作といいます。これは「銀行の銀行」という立場を利用した代表的な金融政策であり、景気が悪いときには国債を買い入れて市場に資金を供給し、景気が過熱しているときには国債を売って市場の資金を吸収することで、物価と経済の安定を図っています。
問5	答え 4 損害保険	保険会社が扱う民間保険は、主に「生命保険」と「損害保険」に分かれます。生命保険は人の生存や死亡に対して保険金が支払われるのに対し、損害保険は火災、地震、交通事故など、偶発的な事故によって生じた実際の損害を埋め合わせることを目的としています。なお、国や地方公共団体が運営し、加入が義務付けられているものは社会保険と呼ばれます。
問6	答え 3 世界金融危機（リーマン・ショック）	2008年に発生した世界金融危機は、2009年度の日本経済に深刻な打撃を与え、大幅なマイナス成長をもたらしました。これは1974年度に第1次石油危機の後に記録した戦後初のマイナス成長を大きく下回る落ち込みでした。このように、グローバル化した現代の経済では、他国で発生した金融不安が短期間のうちに日本へ波及する仕組みになっています。
問7	答え 1 国の予算案を作成し、予算をどのように使うかの計画を決定する。	日本銀行は政府の資金の出し入れや管理を行いますが、国の予算案そのものを作成するのは政府（内閣）の仕事であり、その予算を審議・議決するのは国会の役割です。日本銀行はあくまで中央銀行としての立場から、通貨価値の安定や経済の健全な発展のために機能する機関であり、行政機関である内閣とは役割が明確に区別されています。
問8	答え 2 好景気によって物価が上がりすぎると、貨幣の価値が相対的に下がり国民生活が不安定になるため、通貨量を絞り物価を安定させる必要があるから。	物価が持続的に上昇するインフレーションが起これば、同じ金額で買えるものが少なくなる（＝貨幣価値の下落）ため、国民生活に悪影響を及ぼします。日本銀行の重要な役割の一つは「物価の安定」であり、売りオペレーションを通じて市中の通貨量を減らすことで、過度な経済の過熱を冷やし、物価をコントロールしようとしています。
問9	答え 2 日本銀行券という紙幣を発行する	日本銀行は「発券銀行」とも呼ばれ、私たちが普段使っているお金（日本銀行券）を発行できる唯一の銀行です。一般の銀行とちがい、私たち一人ひとりが直接お金を借りたり預金したりすることはできません。
問10	答え 3 民間の金融機関（市中銀行）との間で、資金の貸し付けや預金の預かりを行う。	「銀行の銀行」とは、私たち個人や企業ではなく、民間の金融機関を相手に取引を行う役割のことです。日本銀行は民間の銀行から預金を預かったり、資金が不足している銀行に対して融資を行ったりすることで、金融システム全体の安定を図っています。一般の個人や企業が日本銀行に口座を作ったり、直接お金を借りたりすることはできません。
問11	答え 3 民間銀行から国債を買い取り、代金を支払うことで市場に流通するお金を増やす	景気が悪い時期には、日本銀行が市場の資金供給量を増やすことで経済を活性化させようとします。日本銀行が一般の銀行が所有する国債を買い取る（買いオペレーション）と、その代金が銀行側に渡るため、世の中に出回るお金の量が増加します。これにより、金利が低下し、消費や投資が促される効果があります。
問12	答え 4 住宅ローンの金利が上昇するため、住宅を購入しようとする個人が減り、不動産市場の過熱が収まる。	金利が上昇すると、お金を借りる際の手数料（利子）が高くなります。これにより、大きな買い物である住宅の購入を抑える人が増えたり、企業が投資を縮小したりするため、景気が冷え込む方向に働きます。これは、上がりすぎた物価（インフレーション）を落ち着かせるための意図的な動きです。金利が上がれば通常、預金金利は上昇し、通貨（円）の価値は高まる傾向にあります。
問13	答え 4 クレジットカード決済などは、銀行にある預金を通貨のように機能させて支払いを行っている。	通貨には、価値を測る「尺度」、支払いに使う「交換手段」、価値を保存する「貯蔵」の機能がある。銀行にある預金は、単に貯蓄されるだけでなく、キャッシュレス決済などを通じて口座振替で支払いに利用されるため、「預金通貨」として交換手段の役割も果たしている。

- 問1 景気が過熱して物価が上がり続けるインフレーションの状態にあるとき、中央銀行である日本銀行が行う政策について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売り、市場の通貨量を増やすことで、利子（金利）を低下させる。 | 2. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売り、市場の通貨量を減らすことで、利子（金利）を上昇させる。 | 3. 日本銀行が民間銀行から国債を買い取り、市場の通貨量を増やすことで、利子（金利）を低下させる。 | 4. 日本銀行が民間銀行から国債を買い取り、市場の通貨量を減らすことで、利子（金利）を上昇させる。 |
|--|--|---|---|
- 問2 日本銀行が実施する「売りオペレーション」と呼ばれる政策において、日本銀行と民間金融機関の間で行われる具体的なやり取りと、その直接的な効果を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 日本銀行が国債を「売り」、民間銀行から通貨を回収することで、市場の通貨量を「減少」させる。 | 2. 日本銀行が国債を「買い」、民間銀行へ通貨を支払うことで、市場の通貨量を「増加」させる。 | 3. 民間銀行が国債を「売り」、日本銀行から通貨を受け取ることで、市場の通貨量を「増加」させる。 | 4. 日本銀行が国債を「発行」し、日本銀行がそれを直接引き受けることで、市場の通貨量を「一定」に保つ。 |
|--|--|--|---|
- 問3 日本銀行が景気の安定を図るために行う「公開市場操作」について、景気の状態とそれに応じた日本銀行の行動の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 好景気るとき、日本銀行が政府に働きかけて減税を実施させ、通貨量を増やす。 | 2. 不景気るとき、日本銀行が国債を買い入れて市場の通貨量を増やす。 | 3. 好景気るとき、日本銀行が国債を買い入れて市場の通貨量を増やす。 | 4. 不景気るとき、日本銀行が国債を売却して市場の通貨量を減らす。 |
|---|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
- 問4 中央銀行である日本銀行が行う業務のうち、「発券銀行」としての役割にあてはまる説明として最も適切なものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| 1. 一般の企業や個人に対して資金の貸し出しや口座開設を行う。 | 2. 国内で流通する紙幣（日本銀行券）を独占的に発行・管理する。 | 3. 税金の収納や国債の発行など、国の資金に関する業務を行う。 | 4. 市中の一般の銀行に対して資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。 |
|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
- 問5 景気が悪化し、企業の倒産や失業者の増大が懸念される状況において、日本銀行がとるべき「買いオペレーション」の仕組みについて正しく説明しているものを選びなさい。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---------------------------------------|
| 1. 日本銀行が民間銀行に対して預金準備率を上げるよう指示し、貸し出しを制限させる。 | 2. 日本銀行が民間銀行から国債を購入し、その代金を支払うことで市場に資金を供給する。 | 3. 政府が発行した新しい国債を日本銀行が直接すべて引き受け、公共事業の資金に充てる。 | 4. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売却し、市場から資金を吸い上げる。 |
|--|---|---|---------------------------------------|
- 問6 日本の経済において、一般の銀行とは別に、各国に一つ置かれる「中央銀行」は非常に重要な役割を担っています。日本の中央銀行である日本銀行が、わが国で唯一、紙幣（日本銀行券）を発行することができる役割を何と呼びますか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| 1. 発券銀行 | 2. 国立銀行 | 3. 銀行の銀行 | 4. 政府の銀行 |
|---------|---------|----------|----------|
- 問7 物価が上がり続け、景気が過熱すぎていると判断される場合、日本銀行が行う「売りオペレーション」による影響として正しいものはどれですか。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 日本銀行が銀行に国債を売ることで、銀行の資金が減り、金利が上がることで企業の借り入れが抑制される。 | 2. 日本銀行が紙幣を大量に発行して政府に供給することで、政府の借金を肩代わりし、財政の健全化を図る。 | 3. 日本銀行が円を売って外国通貨を買うことで、円安を誘導し、日本の輸出企業の利益を増やす。 | 4. 日本銀行が銀行から国債を買うことで、銀行の資金が増え、金利が下がることで個人の消費が拡大する。 |
|--|---|--|--|
- 問8 不況（景気後退）の際、日本銀行が景気を刺激するために、民間の金融機関との間で行う「買いオペレーション」の仕組みとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 日本銀行が政府から直接国債を買い取り、公共事業のための予算を増やすことで消費を促す。 | 2. 日本銀行が民間金融機関から国債などを買い入れ、代金を支払うことで市場の通貨量を増やす。 | 3. 日本銀行が各金融機関の預金準備率を引き上げることで、銀行が貸し出せる資金の量を制限する。 | 4. 日本銀行が民間金融機関に国債などを売却し、代金を回収することで市場の通貨量を減らす。 |
|---|--|---|---|
- 問9 好況時に日本銀行が行う金融政策において、日本銀行と市中銀行の間で行われる「国債」のやり取りと、その結果として生じる「通貨量」の変化の組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2026年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. 日本銀行が国債を売り、市場の通貨量が減少する。 | 2. 日本銀行が国債を売り、市場の通貨量が増加する。 | 3. 日本銀行が国債を買い、市場の通貨量が減少する。 | 4. 日本銀行が国債を買い、市場の通貨量が増加する。 |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
- 問10 1980年代後半から1990年代初めにかけて、日本の経済において、実体経済の動きとは無関係に土地や株式の価格が異常に上昇した現象を何と呼びますか。 (2025年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|----------|-----------|
| 1. デフレーション | 2. オイルショック | 3. バブル経済 | 4. 高度経済成長 |
|------------|------------|----------|-----------|
- 問11 景気が過熱して物価が上がり続けるインフレの恐れがあるとき、日本銀行は市場の通貨量を調節することで景気を安定させようとします。このとき行われる「売りオペレーション」の説明として正しいものはどれですか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場の通貨量を減らす。 | 2. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場の通貨量を増やす。 | 3. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場の通貨量を増やす。 | 4. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場の通貨量を減らす。 |
|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
- 問12 日本銀行が「発券銀行」として、日本銀行券を独占的に発行し、その流通量を管理している最も大きな目的は何ですか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 政府の財政赤字を埋めるために、必要なだけ紙幣を増やすため。 | 2. 国民が自由に紙幣を印刷できるように、技術提供を行うため。 | 3. 世の中の通貨の量を調整することで、物価の安定を図るため。 | 4. 一般の銀行の利益を最大化するために、金利を固定するため。 |
|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
- 問13 銀行などの金融機関と家計との関係において、家計が将来の備えなどのために銀行へお金を預けることを「預金」といいます。これに対し、家計が住宅の購入などのために銀行から資金を借り入れた際、借りた元金（元金）に、あらかじめ決められた利率に応じた利子を加えて、最終的に銀行へ支払う合計金額のことを何といいますか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|-------|
| 1. 配当金 | 2. 返済総額 | 3. 預金残高 | 4. 元金 |
|--------|---------|---------|-------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売り、市場の通貨量を減らすことで、利子（金利）を上昇させる。	インフレーションの際には、市場に出回る通貨の量を抑えて景気を安定させる必要があります。日本銀行が民間銀行に国債を売る「売りオペレーション」を行うと、代金として民間銀行が持つ現金が日本銀行へ回収されます。これにより市場の通貨量が減り、資金の需給関係から利子（金利）が上昇します。利子が上がると企業や個人がお金を借りにくくなるため、経済活動が抑制され物価の上昇が抑えられます。
問2	答え 1 日本銀行が国債を「売り」、民間銀行から通貨を回収することで、市場の通貨量を「減少」させる。	公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）のうち、好景気時に行われるのが「売りオペレーション」です。日本銀行が主体となって国債を「売る」ことで、対価として民間銀行の資金を回収します。その結果、世の中の通貨（マネースtock）の供給が絞込まれ、物価の安定を図ることができます。選択肢にある「国債を買い、通貨量を増加させる」のは、不景気時に行われる「買いオペレーション」の説明です。
問3	答え 2 不景気とき、日本銀行が国債を買い入れて市場の通貨量を増やす。	不景気るときには世の中にお金を流通させる必要があるため、日本銀行が国債を買って代金を市場に流す「買いオペレーション」が行われます。逆に、好景気で物価が上がりすぎるのを防ぐときは、国債を売って代金を回収する「売りオペレーション」が行われます。税金の増減は政府が行う財政政策であり、日本銀行が行う金融政策とは区別する必要があります。
問4	答え 2 国内で流通する紙幣（日本銀行券）を独占的に発行・管理する。	日本銀行が「発券銀行」と呼ばれるのは、国内で流通する紙幣を独占的に発行・管理する権限を持っているためです。一般の銀行に対して貸し出しを行う業務は「銀行の銀行」、国の税金や国債に関する業務を行う役割は「政府の銀行」にあてはまります。
問5	答え 2 日本銀行が民間銀行から国債を購入し、その代金を支払うことで市場に資金を供給する。	日本銀行が民間銀行の持つ国債などを買い取ることを「買いオペレーション」と呼びます。この操作によって、民間銀行が保有する現金の量が増え、企業への融資や個人へのローンといった形で社会全体に流通する資金（マネースtock）が増加します。不景気対策として、市場の資金量を増やすことで景気を下支えする役割を果たします。
問6	答え 1 発券銀行	日本銀行はわが国で唯一の「中央銀行」であり、独自の権限を持っています。そのうち、通貨（日本銀行券）を独占的に発行し、市場に流通する貨幣の量を調整する役割を「発券銀行」と呼びます。これは景気や物価の安定を図るための極めて重要な機能です。
問7	答え 1 日本銀行が銀行に国債を売ることで、銀行の資金が減り、金利が上がることで企業の借り入れが抑制される。	景気が過熱し物価が高騰（インフレ）している場合、日本銀行は「売りオペレーション」を行います。銀行に国債を売って代金を回収することで、市場に出回る通貨量を減らします。銀行の貸し出し資金が不足気味になると金利が上昇し、企業や家計はお金を借りにくくなります。これにより、過剰な投資や消費が抑えられ、物価の安定につながります。なお、為替介入や紙幣の発行による借金返済は、通常の金融政策の仕組みとは異なります。
問8	答え 2 日本銀行が民間金融機関から国債などを買い入れ、代金を支払うことで市場の通貨量を増やす。	不況のとき、日本銀行は市場に流通する通貨（お金）の量を増やすことで経済を活性化させようとします。これを「買いオペレーション」と呼び、日本銀行が民間金融機関から国債を買い取ることで、その代金が市場に供給され、資金の循環を促す仕組みです。対して、好景気で物価が上昇しすぎた際に行われる、国債を売って通貨を回収する操作は「売りオペレーション」と呼ばれます。
問9	答え 1 日本銀行が国債を売り、市場の通貨量が減少する。	日本銀行が国債を売ると、その対価として市中銀行から日本銀行へ現金が支払われます。その結果、市中銀行が保有する資金が日本銀行に吸収されるため、市場全体に流通する通貨量は減少します。この一連の操作は、インフレーションを防止し、物価を安定させるために行われます。
問10	答え 3 バブル経済	1980年代後半、プラザ合意後の円高不況対策として行われた金融緩和などを背景に、市場に溢れた資金が不動産（土地）や株式への投資に集中しました。これにより、実際の価値を大幅に上回る価格がついた様子が、あたかも「泡（バブル）」のように膨らんで見えたことからこの名称で呼ばれます。1991年頃にこの価格が急落し、崩壊したことで、日本は長い不況の時代へと入りました。
問11	答え 1 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場の通貨量を減らす。	日本銀行が保有する国債を一般の銀行に売却すると、その代金として銀行側の資金が日本銀行へ支払われます。これにより、民間市場に出回る通貨の総量が抑えられることになり、景気の行き過ぎを抑制する効果があります。これとは逆に、景気が悪いときに国債を買い取って通貨を供給するのは「買いオペレーション」です。
問12	答え 3 世の中の通貨の量を調整することで、物価の安定を図るため。	もし紙幣が際限なく発行され、世の中に出回る通貨の量が多すぎると、お金の価値が下がり物価が上昇するインフレーションを招く恐れがあります。逆に少なすぎると不況の原因になります。日本銀行は「発券銀行」として通貨の供給量を適切にコントロール（金融政策）することで、お金の価値を安定させ、経済が円滑に回るようにしています。
問13	答え 2 返済総額	銀行から資金を借りる場合、借り手は借りた金額（元金）だけを返せばよいわけではありません。借りた期間や金額に応じた対価として「利子」が発生します。この利子と元金を合わせた全額が、銀行に支払うべき返済総額となります。入試では利子分のみを答えるミスが多いため、元金を含めた合計を指す言葉を正確に理解しておく必要があります。

- 問1 現金そのものを直接送る代わりに、銀行などの口座振替を利用して遠隔地への送金や支払いを行う仕組みを何といいますか。また、この仕組みが異なる国の通貨間で行われる際の通貨の交換比率を何といいますか。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
1. 為替と為替相場 2. 株価と株価指数 3. 配当と配当利回り 4. 利息と金利
-
- 問2 私たちの経済生活において、貨幣は物々交換の不便さを解消し、スムーズな取引を支える重要な役割を担っています。リングやペンといった商品を購入する際に、貨幣がその代金として支払われることで、財（モノ）やサービスと引き換えられる働きを何と呼びますか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
1. 価値の尺度 2. 交換手段 3. 支払手段 4. 価値の保存
-
- 問3 景気が後退している不況期において、日本銀行が世の中の通貨量を調整するために行う「買いオペレーション（公開市場操作）」の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)
1. 日本銀行が政府から直接国債を買い取り、公共事業の予算を増やすこと 2. 日本銀行が金融機関に国債などを売り、世の中の通貨量を減らすこと 3. 日本銀行が直接企業に資金を貸し出し、新しい設備投資を強制すること 4. 日本銀行が金融機関の保有する国債などを買い取り、世の中の通貨量を増やすこと
-
- 問4 家計が銀行に預金をして受け取る利子を「利子A」、家計が銀行から資金を借りて銀行に支払う利子を「利子B」としたとき、銀行が利益を得て経営を成り立たせるために取られている一般的な手法として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
1. 家計から預かった預金を、すべて無利子で他の家計に貸し出す。 2. 利子Bの利率を、利子Aの利率よりも高く設定する。 3. 利子Aと利子Bの利率を、常に同じ数値に設定する。 4. 利子Bの利率を、利子Aの利率よりも低く設定する。
-
- 問5 景気が過熱して物価が上がり続けるインフレーションの懸念があるとき、日本銀行が行う金融政策とその目的についての説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
1. 増税を行うことで、国民の可処分所得を減らし、消費行動を直接抑えることで物価の上昇を止める。 2. 公共事業を削減することで、政府の支出を抑え、市場の資金流通量を直接減少させる。 3. 金利を上げることで、企業や個人が資金を借りにくくし、景気を抑制して物価の安定を図る。 4. 金利を下げることで、市場に出回る貨幣の量を増やし、経済活動をさらに刺激する。
-
- 問6 日本の中央銀行である日本銀行が、一般の民間銀行に対して資金を貸し出したり、預金を受け入れたりする役割を何と呼びますか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
1. 政府の銀行 2. 銀行の銀行 3. 国民の銀行 4. 発券銀行
-
- 問7 日本銀行が「政府の銀行」としての役割を果たすときに行う具体的な業務の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
1. 国が発行する国債に関する事務や、税金などの国庫金の管理を行う。 2. 全国の家計から預金を集め、それを原資として地方自治体に融資を行う。 3. 株式会社の株主総会に出席し、企業の経営方針に対して直接的な助言を行う。 4. 深刻な不況の際に、経営難に陥った全国の工場へ直接運転資金を貸し付ける。
-
- 問8 キャッシュレス決済の仕組みと通貨の性質について述べた次の文のうち、最も適切なものはどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. キャッシュレス決済が普及すると、通貨の持つ「交換手段」としての機能は失われることになる。 2. 銀行の預金は、利子を得るための貯蓄手段であり、支払い手段としての通貨の性質は持たない。 3. キャッシュレス決済で使われる電子データは、日本銀行が発行する現金通貨と同じ法的強制力を持つ。 4. クレジットカード決済などは、銀行にある預金を通貨のように機能させて支払いを行っている。
-
- 問9 日本経済において、物価が持続的に下落するデフレーションが進行している時期の経済状況や政策について述べたものとして、正しい記述はどれですか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
1. 需要が供給を大幅に上回っているために物価が下落しており、日本銀行は通貨量を減らすために「売りオペレーション」を実施する。 2. 物価の下落により貨幣の価値が相対的に上がるが、企業の収益悪化や賃金の低下を招き、さらなる景気の冷え込みにつながりやすい。 3. 通貨の価値が下がり続ける現象であるため、日本銀行は公開市場操作を通じて市場の通貨量を増やすことで、物価の下落を食い止める。 4. 物価の下落は消費者の購買力を高めて景気を浮揚させるため、政府は増税を行って市場の通貨量を回収し、経済の安定を図る。
-
- 問10 個人が資金を運用する手段のうち、銀行などの金融機関が資金の貸し手と借り手の間に入って資金を融通する「間接金融」に該当するものはどれですか。 (2026年 山梨県公立入試 類似)
1. 地方自治体が発行する地方債の購入 2. 銀行への預金 3. 企業の株式の購入 4. ふるさと納税による寄付
-
- 問11 1990年代後半から2010年代半ばにかけての日本の経済成長率の推移をみると、2008年から2009年にかけて成長率がマイナス5%近くまで急激に落ち込んでいる時期があります。この大きな要因となった出来事として最も適切なものはどれですか。 (2017年 東京都公立入試 類似)
1. 不動産や株式の価格が急落したバブル経済の崩壊による金融機関の破綻 2. 郵政民営化や道路公団の民営化といった構造改革による公共投資の削減 3. アメリカ合衆国の証券会社の破綻をきっかけとする世界的な金融危機の発生 4. 消費税率が5%に引き上げられたことによる国内の個人消費の著しい低迷
-
- 問12 外国が為替市場において、1ドルを交換するために必要な日本円が150円から100円に変化した状況を想定します。このように他国の通貨に対して「円の価値が高い」状態を何と呼び、この時、10万円をアメリカドルに換えた場合に受け取ることができるドルの額はどれになりますか。 (2026年 三重県公立入試 類似)
1. 円高と呼び、受け取るドルが少なくなる 2. 円安と呼び、受け取るドルが多くなる 3. 円高と呼び、受け取るドルが多くなる 4. 円安と呼び、受け取るドルが少なくなる
-
- 問13 日本銀行が担う「発券銀行」としての役割と、その目的について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
1. 民間の銀行が資金不足に陥った際に資金を貸し出し、金融システム全体の混乱を未然に防ぐ。 2. 日本銀行券を独占的に発行し、景気の状態に合わせて世の中に出回る通貨の量を調整することで、物価の安定を図る。 3. 企業の活動を支援するために株式を直接発行し、投資家から集めた資金を産業の発展に役立てる。 4. 国の税金を預かったり、公共事業などの支払いを行ったりすることで、国の資金（国庫金）を安全に管理する。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 為替と為替相場	遠隔地への送金や決済を、現金を運ぶリスクを避けて銀行口座を通じた振込などで処理する仕組みを「為替」と呼びます。国内で行われるものを内国為替、国をまたいで行われるものを外国為替といいます。外国為替において、日本円と米ドルのように異なる通貨を交換する際の比率は「為替相場（為替レート）」と呼ばれ、市場の需要と供給によって常に変動しています。
問2	答え 2 交換手段	貨幣には主に3つの機能がありますが、その中でも最も基本的なものが、モノやサービスと直接やり取りされる「交換手段」としての機能です。物々交換では「自分の欲しいものを持つ相手」かつ「相手が自分の持っているものを欲しがっている」という一致が必要ですが、貨幣が仲立ち（媒介）となることで、誰とでも自由に、効率よく取引を行うことが可能になります。
問3	答え 4 日本銀行が金融機関の保有する国債などを買い取り、世の中の通貨量を増やすこと	不況の際には、日本銀行が市中の金融機関（銀行など）が持っている国債を買い取ります。その代金が金融機関に支払われることで、民間に出回る通貨量が増加します。これにより、企業や個人がお金を借りやすい状況を作り、景気を刺激しようとします。
問4	答え 2 利子Bの利率を、利子Aの利率よりも高く設定する。	銀行は、多くの家計から集めた「預金」を、資金を必要とする家計や企業に「貸し出し」しています。この際、貸し出す側から受け取る利子（利子B）を、預金者に支払う利子（利子A）よりも高く設定することで、その差額（利ざや）を銀行の運営費用や利益に充てるという仕組みになっています。
問5	答え 3 金利を上げることで、企業や個人が資金を借りにくくし、景気を抑制して物価の安定を図る。	景気が良すぎて物価が急激に上昇する（好況・インフレの）とき、日本銀行は景気の行き過ぎを抑えるために金利を上げる操作を行います。金利が上がると、企業は資金を借りるコストが高くなるため、新たな生産活動や設備投資を控えるようになります。これにより、市場に流通するお金の量が抑えられ、需要が落ち着くことで、物価の安定へとつながります。なお、増税や公共事業の調整は政府が行う「財政政策」であり、日本銀行が行う「金融政策」とは区別する必要があります。
問6	答え 2 銀行の銀行	日本銀行は、私たち個人や一般の企業と直接取引を行うことはありません。その代わりに、三菱UFJ銀行や地方銀行といった「一般の銀行」を相手に資金の貸し借りや預金の管理を行うため、このような名称で呼ばれます。これにより、金融機関同士の資金のやり取りを円滑にし、経済全体の安定を支えています。
問7	答え 1 国が発行する国債に関する事務や、税金などの国庫金の管理を行う。	日本銀行は国の資金（国庫金）の出し入れを管理したり、国が借金をするために発行する国債の事務手続きを行ったりすることで、政府の経済活動を支えています。一般の企業や家計と直接的な資金のやり取りを行うことはありません。
問8	答え 4 クレジットカード決済などは、銀行にある預金を通貨のように機能させて支払いを行っている。	通貨には、価値を測る「尺度」、支払いに使う「交換手段」、価値を保存する「貯蔵」の機能がある。銀行にある預金は、単に貯蓄されるだけでなく、キャッシュレス決済などを通じて口座振替で支払いに利用されるため、「預金通貨」として交換手段の役割も果たしている。
問9	答え 2 物価の下落により貨幣の価値が相対的に上がるが、企業の収益悪化や賃金の低下を招き、さらなる景気の冷え込みにつながりやすい。	デフレーションの状況下では、物価が下がるため貨幣の価値は相対的に高まりますが、一方で企業の売上減少や在庫の増加を招きます。その結果、労働者の賃金が下がったり失業者が増えたりして消費がさらに落ち込む「デフレスパイラル」という悪循環に陥るリスクがあります。この不況を打開するため、日本銀行は公開市場操作によって市場に資金を供給し、通貨量を増やす金融緩和政策をとるのが一般的です。
問10	答え 2 銀行への預金	銀行への預金は、預けられたお金を銀行が自身の判断で企業などに貸し出すため、貸し手と借り手の間に金融機関が介在する間接金融の代表例です。一方、株式や債券の購入は、資金の出し手が直接、発行元（企業や自治体）に資金を供給するため、直接金融に分類されます。
問11	答え 3 アメリカ合衆国の証券会社の破綻をきっかけとする世界的な金融危機の発生	2008年にアメリカ合衆国の投資銀行であるリーマン・ブラザーズが破綻したことをきっかけに、連鎖的な金融危機（リーマン・ショック）が発生しました。これにより世界的な景気後退が起こり、日本でも輸出の激減や株価の下落によって、戦後最大級のマイナス成長を記録しました。他の選択肢のうち、消費税5%への引き上げは1997年、郵政民営化は2005年、バブル崩壊は1990年代初頭の出来事であり、時期が異なります。
問12	答え 3 円高と呼び、受け取るドルが多くなる	1ドルを交換するために必要な円が少なくなるということは、相対的に日本円の価値が上がったことを意味するため「円高」といいます。例えば、10万円を元手にドルに換える場合、1ドル150円の時よりも1ドル100円の時の方が、より多くのドルと交換できる（＝受け取るドルが多くなる）ため、海外旅行に行く際などは有利な状況となります。
問13	答え 2 日本銀行券を独占的に発行し、景気の状態に合わせて世の中に出回る通貨の量を調整することで、物価の安定を図る。	日本銀行が「発券銀行」として紙幣の発行を独占しているのは、通貨の価値を安定させるためです。複数の銀行が自由に紙幣を発行すると、流通量のコントロールが困難になり、激しいインフレやデフレを招く恐れがあります。日本銀行は、景気が悪いときにはお金を多く流通させ、景気が過熱しているときには抑えるといった調整を行うことで、国民生活の基盤となる物価の安定を目指しています。

問1 不況（景気後退）の際、日本銀行が景気を刺激するために行う金融政策について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2016年

千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 日本銀行が市中銀行へ国債などを売り、市場に流通する通貨供給量を減らすことで、企業の設備投資を抑制させる。 | 2. 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、市場に流通する通貨供給量を減らすことで、物価の上昇を抑える。 | 3. 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、市場に流通する通貨供給量を増やすことで、企業などへの貸し出しを促進させる。 | 4. 日本銀行が市中銀行へ国債などを売り、市場に流通する通貨供給量を増やすことで、消費者の購買意欲を高める。 |
|---|--|---|--|

問2 外国為替市場において、1ドル＝100円だった為替レートが1ドル＝140円になるような、他国の通貨に対して日本円の価値が相対的に下がる現象を何と呼びますか。また、その際、海外から輸入される牛肉などの輸入価格はどうか変化しますか。正しい組み合わせを選びなさい。（2026年

鳥取県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 円安となり、輸入価格が上昇する | 2. 円安となり、輸入価格が下落する | 3. 円高となり、輸入価格が上昇する | 4. 円高となり、輸入価格が下落する |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|

問3 企業が事業を行うために必要な資金を調達する仕組みのうち、銀行などの金融機関が貸し手と借り手のなかだちとなり、資金を融通する仕組みを何と呼びますか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 間接金融 | 2. 直接金融 | 3. 信用創造 | 4. 市場経済 |
|---------|---------|---------|---------|

問4 日本の中央銀行である日本銀行は、私たち個人や一般の企業と直接取引を行うことはありませんが、民間の銀行（一般の銀行）に対しては資金の貸し出しや預金の受け入れを行っています。このような役割を何と呼びますか。（2020年 香川県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|----------|---------|---------|
| 1. 銀行の銀行 | 2. 政府の銀行 | 3. 市中銀行 | 4. 発券銀行 |
|----------|----------|---------|---------|

問5 景気が後退している状況において、日本銀行が買いオペレーションを実施した場合、市場の利子率（金利）と企業の経済活動にはどのような変化が起きると期待されますか。その因果関係を説明したものとして適切なものを選びなさい。（2023年 神奈川県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 市場の通貨量が減ることで利子率が上がり、企業の借金が減るため経営状態が改善する | 2. 市場の通貨量が増えることで利子率が上がり、企業は将来のインフレに備えて生産を縮小する | 3. 市場の通貨量が増えることで利子率が下がり、企業は資金を借りやすくなって設備投資を増やす | 4. 市場の通貨量が減ることで利子率が下がり、デフレが解消されて企業の売上が増加する |
|--|---|--|--|

問6 日本銀行は、一般的な銀行とは異なる特別な役割を持つため「中央銀行」と呼ばれます。その役割の一つである「発券銀行」としての業務内容について、正しく説明しているものを選びなさい。（2025年 埼玉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. 政府の資金（国庫金）を預かり、税金の受け取りや公共事業費の支払いを行う。 | 2. 日本銀行券を独占的に発行し、世の中に出回るお金の量を管理する。 | 3. 個人や企業から預金を預かり、住宅ローンや設備投資のための資金を貸し出す。 | 4. 経営が悪化した一般の銀行に対して、最後の貸し手として資金を融通する。 |
|---|------------------------------------|---|---------------------------------------|

問7 日本の金融の仕組みを説明したレポートにおいて、家計や企業が金融機関に預けた預金を、金融機関が自身の判断と責任で資金を必要とする企業などへ貸し出しを行う形態を何と呼びますか。最も適切な用語を選びなさい。（2026年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|
| 1. 自己資金調達 | 2. 株式投資 | 3. 直接金融 | 4. 間接金融 |
|-----------|---------|---------|---------|

問8 日本銀行が不況期に買いオペレーションを行い、市場に流通する通貨量を増やした結果、期待される経済への影響として適切なものを選びなさい。（2023年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------------|--|---------------------------------------|---|
| 1. 政府の借金である国債がすべて回収され、国の財政赤字が解消される | 2. 通貨の価値が急激に高まり、輸入品の価格が安くなることでデフレが進行する | 3. 銀行の貸出金利が上がり、個人の貯蓄意欲が高まることで消費が抑制される | 4. 銀行の貸出金利が下がり、企業が資金を借りやすくなることで設備投資が活発になる |
|------------------------------------|--|---------------------------------------|---|

問9 好況期において、日本銀行が「売りオペレーション」を行う主な目的と、その仕組みを説明した文として正しいものを次から選びなさい。（2020年 鳥根県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 1. 市場の通貨量を減らすことで金利を上昇させ、景気の行き過ぎを抑えるため。 | 2. 市場の通貨量を増やすことで金利を低下させ、企業の投資を促進するため。 | 3. 日本銀行の保有する国債を減らすことで、政府の財政赤字を解消するため。 | 4. 通貨の流通を活発にすることで失業率をさらに下げ、国民所得を増やすため。 |
|--|---------------------------------------|---------------------------------------|--|

問10 日本銀行が「発券銀行」として紙幣を発行し、その流通量を調整している最も主要な目的は何ですか。その背景を含めた説明として適切なものを選びなさい。（2015年 佐賀県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. 国全体の予算を編成し、公共事業や社会保障に必要な資金を分配するため | 2. 一般の個人や企業に対して直接的な融資を行い、利息による利益を得るため | 3. 通貨の供給量を操作することで、物価の安定を図り経済を安定させるため | 4. 外国との貿易を円滑に進めるため、すべての国の通貨を日本銀行券に統一するため |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|--|

問11 日本銀行が一般の銀行に対して国債などを売却する「売りオペレーション」を実施した際、その後の社会経済に与える影響として最も適切な仕組みはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 政府が公共事業を増やすための資金が確保され、有効需要が創出されることで失業者が減少する。 | 2. 市場の通貨量が増えることで人々の購買意欲が高まり、デフレーションからの脱却が促進される。 | 3. 銀行の資金が減って金利が上がるため、企業が資金を借りにくくなり、景気の過熱が抑えられる。 | 4. 銀行の資金が増えて金利が下がるため、企業が資金を借りやすくなり、景気が刺激される。 |
|---|---|---|--|

問12 日本の中央銀行である日本銀行は、民間の金融機関には認められていない特別な役割を3つ持っています。そのうち、日本の紙幣である日本銀行券を独占的に発行できる唯一の銀行としての役割を何といいますか。（2025年 岐阜県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| 1. 発券銀行 | 2. 市中銀行 | 3. 政府の銀行 | 4. 銀行の銀行 |
|---------|---------|----------|----------|

問13 クレジットカードを用いた取引では、消費者が店で商品を受け取った際、代金をカード会社が一時的に立て替え、後日消費者がカード会社に代金を支払う仕組みになっています。このような仕組みにおいて、将来の支払いに困らないよう「計画的な支出管理」が求められる理由として、最も適切なものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 商品の購入と同時に銀行口座から即座に代金が引き落とされるため、残高不足による決済不能を防ぐ必要があるから | 2. 現金を使わないためにお金を使った実感を持ちにくく、自身の収入を考えずに使いすぎてしまう恐れがあるから | 3. クレジットカードは自身の収入に関わらず、利用限度額の設定なしに無制限に利用することが一般的であるから | 4. カード会社が代金を立て替えることで、消費者は将来の支払い義務を負わずに商品を受け取ることができるから |
|---|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、市場に流通する通貨供給量を増やすことで、企業などへの貸し出しを促進させる。	不況時には世の中にお金が回りにくくなるため、日本銀行は「買いオペレーション」を実施します。これは日本銀行が民間銀行（市中銀行）の保有する国債を買い取ることで、その代金として大量の通貨を市場に流し込む仕組みです。その結果、通貨供給量が増加して金利が下がり、銀行が企業や個人へお金を貸し出しやすくなるため、景気の回復が期待されます。
問2	答え 1 円安となり、輸入価格が上昇する	1ドルを交換するために必要な日本円が100円から140円に増えることは、ドルに対して円の価値が下がったことを意味するため「円安」と呼びます。この状況では、海外から1ドルの商品を買い付ける際により多くの円を支払わなければならないため、輸入価格は上昇し、家計や企業のコスト負担が増加する要因となります。
問3	答え 1 間接金融	家計などの貸し手と、企業などの借り手の間に、銀行などの金融機関が介在して資金をやり取りする仕組みを指します。金融機関がリスクを負って資金を管理し、なかだちとして機能することが特徴です。
問4	答え 1 銀行の銀行	日本銀行は、民間の金融機関（一般の銀行など）を相手に、資金が不足している際に貸し付けを行ったり、余剰資金を預金として受け入れたりする役割を担っています。これを「銀行の銀行」と呼びます。個人が日本銀行に口座を作ることはできませんが、銀行同士の決済や、金融システムの安定のためにこの機能が使われています。
問5	答え 3 市場の通貨量が増えることで利子率が下がり、企業は資金を借りやすくなって設備投資を増やす	日本銀行が買いオペレーションを行い市場の通貨量が増えると、資金の供給が需要を上回るため、お金を借りる際のコストである「利子率」が低下します。利子率が下がれば、企業は低い利息で銀行から資金を借りて新しい工場を建てたり、機械を導入したりする（設備投資）といった経済活動を行いやすくなります。これにより、社会全体の経済活動が活発になり、不景気からの脱却が図られます。
問6	答え 2 日本銀行券を独占的に発行し、世の中に出回るお金の量を管理する。	日本銀行は、私たちが普段使用している一万円札や千円札などの「日本銀行券」を唯一発行できる機関です。この「発券銀行」としての機能を通じて、通貨の供給量をコントロールし、お金の価値を一定に保つ役割を果たしています。政府の資金を扱うのは「政府の銀行」、一般の銀行に融資を行うのは「銀行の銀行」としての役割であり、個人との取引は行いません。
問7	答え 4 間接金融	家計や企業から預けられた資金を、銀行などの金融機関が仲介役となって企業などへ貸し出しを行う仕組みを指します。資金の貸し手と借り手の間に金融機関が入るため、この名称と呼ばれます。これに対し、企業が株式や社債を発行して証券市場から直接資金を募る形態を直接金融と呼びます。
問8	答え 4 銀行の貸出金利が下がり、企業が資金を借りやすくなることで設備投資が活発になる	買いオペレーションによって市場に出回る通貨量が増えると、お金を借りやすくなるため、銀行の貸出金利（利子率）が低下します。金利が下がれば、企業は新しい工場を建てるための資金を借りやすくなり、個人も住宅や自動車のローンを組みやすくなるため、社会全体の投資や消費が促進され、景気の回復へとつながります。国債の回収は一時的な通貨量調整の手段であり、国の財政赤字そのものを解消する仕組みではありません。
問9	答え 1 市場の通貨量を減らすことで金利を上昇させ、景気の行き過ぎを抑えるため。	好況時に日本銀行が国債を売ると、民間金融機関が手持ちの資金を支払いに充てるため、市場の通貨量が少なくなります。お金の供給が減ると資金調達が難しくなり、金利（利子率）が上昇します。これにより、企業や個人の借り入れが抑制され、消費や投資の勢いが落ち着くことで景気の過熱が抑えられます。
問10	答え 3 通貨の供給量を操作することで、物価の安定を図り経済を安定させるため	日本銀行は、市場に流通する通貨の量を調整することで、物価が急激に上がったり下がったりすることを防いでいます。この機能は景気の波を穏やかにするために不可欠です。国の予算編成は政府の役割であり、個人や企業への直接融資は一般の普通銀行が行う業務です。また、他国の通貨を統合する役割も持っていません。
問11	答え 3 銀行の資金が減って金利が上がるため、企業が資金を借りにくくなり、景気の過熱が抑えられる。	売りオペレーションによって民間銀行が持つ資金が減少すると、資金の貸し借りの際の価格である「金利（利子）」が上昇します。金利が上がると、企業は利息負担を嫌って設備投資などのための借り入れを控えるようになります。この一連の流れにより、社会全体の経済活動のスピードが緩やかになり、物価の急激な上昇が抑えられます。
問12	答え 1 発券銀行	日本銀行は、日本で唯一の「日本銀行券（紙幣）」を発行できる権利を持つため「発券銀行」と呼ばれます。これにより、世の中に出回る通貨の量を調整し、物価や経済の安定を図る役割を担っています。他の選択肢である「銀行の銀行」は民間銀行と取引を行う役割、「政府の銀行」は国庫金の管理などを行う役割を指します。
問13	答え 2 現金を使わないためにお金を使った実感を持ちにくく、自身の収入を考えずに使いすぎてしまう恐れがあるから	クレジットカードは、購入時点では現金の支出を伴わないため、心理的に「お金を使った」という感覚が薄れやすい傾向にあります。そのため、自分の将来の収入や他の支出予定を十分に考慮せずに利用を重ねてしまうと、後日の支払い期日に資金が不足し、返済が困難になるリスクがあります。このような事態を避けるために、自身の経済状況を把握した計画的な利用が不可欠です。